

# 福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.66

発行日：2021年 5月22日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園4丁目5-16 E-mail [krc-fn@jcom.home.ne.jp](mailto:krc-fn@jcom.home.ne.jp)

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>

## 第46回月例マラソンは雨天中止に

5月16日(日)の第46回「のおがたこたけ月例マラソン」は雨天により中止しました。

福岡県に5月12日から5月31日緊急事態宣言が出されたため、多くの方から「月例マラソンは開催されるのか？」との問合せがありました。

緊急事態宣言下では不要不急の外出は控えるとなっていますが、ウォーキングやランニング等、感染対策をして外出することまで制限されている訳ではありません。催物(イベント等)については、人数上限5,000人かつ収容率50%・開催は21時までとなっており、イベント参加者が1,000人を超えるようなイベントについては、事前に県に相談することとなっています。2021年度の福岡県・直方市・直方市教育委員会・小竹町教育委員会等の後援は決定していますが、会場使用許可については毎月申請をして許可を得ることになっています。

今回、事務局では4月30日に直方市役所都市計画課に公園施設使用許可申請書、水辺館にトイレ使用申請書、直方警察署に道路使用許可申請書等を提出しました。5月6日に直方市役所都市計画課より感染対策の資料を提出してくださいとの依頼があり、7日付けで遠賀川河川敷公園の使用許可書を受取りました。その許可書を国土交通省直方出張所と県土整備事務所に提出。そして、11日に直方署から道路使用許可証と車四台分の通行禁止道路通行許可証を受取り開催可能となりました。

ところが、月例マラソン当日の天気予報は雨。14日(金)に国土交通省直方出張所で坂路キーを借りて、15日(土)9時から会場設営をする予定でしたが、雨で感染対策をした会場設営ができないため中止を決定しました。

早速、新日本スポーツ連盟のホームページに雨天中止を掲載、事務所の電話に中止の応答メッセージを録音し、当日の会場で中止の案内に立ちました。事務局の携帯に10件、事務所の電話に11件の問合せがあり、当日会場に8人来て、全部で約30人の方と対応しました。

【今後のお願い】受付前の検温等で混雑しますので、自宅での検温をお願いします。また、健康チェックシートがホームページにあります。それに記入して持参すると受付が早くなります。

## 練習会の案内

桃園運動公園の周回コースのマット半分が張り替えられて、足元が滑らずクッションがよくなりました。今回も皿倉山(標高622m)のトレイルランと、周回コースのタイムトライアルで練習会をします。また、体に優しい走り方スロージョギングについて体験します。

日時 6月6日(日)9時集合

場所 自然の館(〒806-0013 北九州市八幡西区清納1-1-10)

参加費 会員100円、会員外は200円です。(保険料含む)

更衣・シャワー・トイレの利用ができます。

問合せ 携帯090-7455-1853(西村)

《役員だより》東京オリンピックまで2ヶ月余りとなったが、依然として新型コロナの新規感染者は連日6,000人を超えている。ところが「この程度の『さざ波』。これで五輪中止とかいって笑笑」とツイートした人がいる。内閣官房参与の高橋洋一氏。インド、欧米各国と比較したら大したことではないということだろう。では近隣の韓国、台湾と比較した場合はどうだろうか。韓国の感染者数累計133,471人、死者1,912人。台湾2,260人、14人。日本は693,688人、11,862人となっている。台湾は今までコロナ封じ込めに成功していたが、つい最近また感染者が急激に増加した。航空会社乗務員の隔離期間を14日から3日に短縮したことが発端のようだ。東京オリンピックの選手やコーチは入国したら、隔離なしで、選手村に直行。そして毎日PCR検査し管理するから大丈夫との考え方は、何がなんでも強行しようとしているように思える。東京五輪音頭は、「西の国から東から アチョイトネ 北の国から 南の海も 越えて日本へ どんときた ヨイショコーリャ どんときた」と歌っているように世界中から来るのである。コロナ禍で世界の人々が苦しんでいる最中に、平和の祭典は中止するべきである。(辰)